

春の

新宿区では気軽に本格的な
文化芸術体験ができる
「春の文化体験プログラム」を
実施します。

新宿区

2019

文化体験プログラム

能楽堂で「能」体験！

3月15日(金) ①15:00-16:30 ②19:00-20:30
(定員)各回20名 (会場) 矢来能楽堂(矢来町60)

寄席文字体験

～江戸の縁起文字を書く～

3月19日(火) ①15:00-16:30 ②19:00-20:30
(定員)各回20名 (会場) 芸能花伝舎(西新宿6-12-30)

江戸の粋！

小唄・三味線のいろは

3月21日(木・祝) ①13:00-14:30 ②15:30-17:00
(定員)各回15名 (会場) 芸能花伝舎(西新宿6-12-30)

和の伝統工芸、 組紐を楽しむ

3月26日(火) ①13:30-15:30 ②19:00-21:00
(定員)各回18名 (会場) 牛込筆笥地域センター(筆笥町15)

開催期間
3/15(金)～3/26(火)

対象
16歳以上

参加費
100円(プログラム1回につき)

申込締切
2019年2月28日(木)必着

お問合せ
新宿区文化観光産業部文化観光課 TEL.03-5273-4069

春の文化体験プログラムは東京2020公認プログラムです。

新宿区
SHINJUKU CITY

詳しくはホームページやチラシ(区内各施設に設置)をご覧ください。

新宿区 文化体験プログラム

検索



能楽堂で「能」体験!

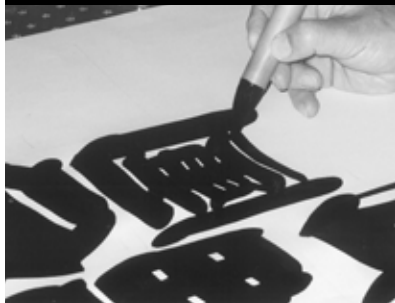


3月15日(金)
①15:00-16:30 ②19:00-20:30
 <定員>各回20名
 <会場>矢来能楽堂(矢来町60)
 <講師>鈴木 啓吾 / 観世流シテ方能楽師
 <概要>能舞台や能楽にまつわる話のあと、謡(うたい)と仕舞(しまい)を体験。国登録有形文化財・矢来能楽堂の格式ある空間の中で、伝統芸能の魅力を心身で感じてください。



鈴木 啓吾 / 観世流シテ方能楽師
 明治大学文学部卒業後、観世九皇会・三世観世喜之に師事。観世九皇会、緑泉会での演能活動のほか、自らの研究公演「一乃会」主宰。能のコトバに着目した謡の催し「ことばのかぜ」、実際の舞台映像を観ながら番組を解説する「遊楽のひとつぎ」を定期的に開催。(公社)能楽協会会員、重要無形文化財(総合)指定保持者、一乃会 神楽坂遊楽スタジオ代表。著書:『能のうたー能楽師が読み解く遊楽の物語ー』新典社刊。

寄席文字体験～江戸の縁起文字を書く～



3月19日(火)
①15:00-16:30 ②19:00-20:30
 <定員>各回20名
 <会場>芸能花伝舎(西新宿6-12-30)
 <講師>橋 右楽 / 橋流寄席文字伝承者
 橋 紅楽 / 橋流寄席文字伝承者
 <概要>文字を「客席」に見立て、「筆太に墨黒々と、隙間なく詰めて書く」。寄席文字は大入り満員の願いをこめて書かれた江戸から伝わる縁起文字です。その特色と基本的な書き方を学びます。



橋 右楽 / 橋流寄席文字伝承者
 1975年橋流寄席文字家元・橋右近に師事。1977年9月伝承者に認定され橋右楽を名乗る。落語協会、落語芸術協会、池袋演芸場の書き物一切を担当するなど筆耕活動を行う。2018年10月開席の仙台「魅知国定席・花座」では寄席行燈、庵看板をはじめ、席のしつらえなど制作全般に関する。2019年NHK大河ドラマ「いだてん」では寄席の再現や劇中の寄席文字筆耕を担当するなど寄席監修・指導に参画中。現在も後進の育成・指導のほか、寄席文字の普及と啓蒙にも積極的に取り組んでいる。

橋 紅楽 / 橋流寄席文字伝承者
 1998年1月橋右楽に師事。2003年11月伝承者に認定され橋紅楽を名乗る。現在、池袋演芸場のポスター類、仙台魅知国定席・花座(平成30年4月開席)の看板やめぐり一切、講談協会の書き物などを担当。落語協会、落語芸術協会など所属演芸家の依頼によりポスター・チラシのデザイン等をはじめ、広く筆耕活動を行う。

江戸の粹! 小唄・三味線のいろは



3月21日(木・祝)
①13:00-14:30 ②15:30-17:00
 <定員>各回15名
 <会場>芸能花伝舎(西新宿6-12-30)
 <協力>日本小唄連盟
 <講師>松峰 照 / 松峰派二代目家元
 <概要>軽やかでしゃれた唄をうたい三味線を弾く「江戸の粹」。大人の嗜み「小唄」を気軽に体験してみませんか。



松峰 照 / 松峰派二代目家元
 昭和52年、初代松峰照(母)の下で小唄を始める。清元清寿大夫、初代大和美背葵、二代目大和久清に師事。昭和55年NHK邦楽オーディションに合格し、以後数々の番組に出演。平成11年、二代目松峰照を襲名。平成5年、小唄連盟「若樹賞」受賞。同人会「彩の会」「えんの会」会員。

和の伝統工芸、組紐を楽しむ



3月26日(火)
①13:30-15:30 ②19:00-21:00
 <定員>各回18名
 <会場>牛込単管地域センター(単管町15)
 <講師>道明 三保子 / 組紐文化研究所主宰
 <概要>組紐の歴史や作品鑑賞を交えながら、25センチほどの組紐ストラップを組み上げます。着物の美の要である帯締めに欠かせない組紐技術の一端を体験してみましょう。



道明 三保子 / 組紐文化研究所主宰
 文化学園大学(旧文化女子大学)名誉教授。組紐教室や講演を通して、日本独特の伝統工芸である組紐の研究普及に努める。文化女子大学教授、文化学園服飾博物館学芸室長、放送大学客員教授などを務めた。現在、平山郁夫シルクロード美術館理事。平成24年度蚕糸功績賞受賞。著作は共著「アジアの風土と服飾文化」、監修「すくわかる染め・織りの見分け方」など。

申込方法

申込締切 2019年2月28日(木) 必着

下記の必要事項を記入の上、はがきまたはFAXでお申し込みください。

必要事項 ①参加者氏名(ふりがな) ②希望プログラム名 ③希望日時 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号

注意事項 ※1プログラム1回につき100円(保険料等)の参加費がかかります。当日各会場でお支払いください。※応募者多数の場合は抽選となります。※抽選となった場合は区民優先ですが、区外の方も申し込みできます。※ご応募いただいた方には後日抽選結果等を通知いたします。※定員に満たないプログラムは、締め切り日以降も募集いたします。締め切り日以降もお気軽にお問い合わせください。

お申込み・お問合せ

新宿区文化観光産業部 文化観光課

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1

☎: 03-5273-4069 FAX: 03-3209-1500

<https://www.city.shinjuku.lg.jp/kanko/bunkataiken2018.html>